

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和五年四月度 入賞句一覧

投句数 千百五十二句



特選

長町 誠司 選

おぼろづきこつちをむいてくれんかね

大垣市

岩田 周次朗（小五）

「おぼろづき」は、おぼろにかすんだ春の月のことを言います。春特有の気候のため、輪郭がはつきりせず、見るものにぼんやりした印象を与えます。そんな月に話しかけているので、しよるか。それとも「取り合せ」を意識して作ったのでしょうか。「おぼろづき」という季語の印象を生かし、相手に依頼する表現を、口語体で作りました。読者に考えさせるような不思議な俳句です。

この町の空気をすいにつばめくる

大垣市

いとう そら（小六）

つばめは渡り鳥。春に飛来し、人家の軒や小屋などに巣を作ります。以前、私が俳句授業でおじやました小学校の校舎でも、巣作りが目的のつばめの姿をよく見かけました。この句のポイントはこの町の空気をすいに「す」です。作者はつばめの気持ちに寄り添って作句しています。つばめに選んでもらえた空気のきれいなこの町に住める誇りを持つとともに、この自然をいつまでも大切にしたいですね。

花ふぶきはくしゅもらった駅ピアノ

大垣市

市川 椋一（小六）

ストリートピアノは、誰でも自由に弾ける状態のピアノで、駅やショッピングモールなどに設置されています。「駅ピアノ」ですから、大垣駅直結通路のピアノのことかもしれません。作者は、駅ピアノを弾き、観客から拍手を貰ったようです。とても嬉しかったでしょうね。花吹雪のように、いつせいに拍手喝采を浴びたのでしょうか。これからの人生の自信に繋がりますね。いつか作者のピアノ演奏が聴けますように。

秀逸

はるのにじそらにうかんだあめのあと

大垣市

河合 結（小四）

ねこの恋みてはいけないことだった

大垣市

いとう るか（小五）

初電話今年はだれになるのかな

大垣市

名川 佳歩（小五）

春の虹私もいつかがやく日

大垣市

今村 結愛（小五）

外に出て春風ふいたもう五年

大垣市

石田 あん（小五）

桜の木川が色付くピンク色

大垣市

奥田 妃奈（小五）

もうすぐだ春の足音きこえるぞ

大垣市

安田 蒼生（小五）

一本の枝垂桜に一目惚れ

大垣市

松本 ちかげ（小六）

かわずの子見てよ見てよと散りぢりに

大垣市

佐々木 海知（小六）

春の海みみをすませば歌声だ

大垣市

菊池 光（小六）

入選

小中学生の部

しゃぼん玉虹にうつたぼくの過去	大垣市	佐々木 海知（小六）
猫の子が足跡のこしじゆくすい	大垣市	白井 咲織（小六）
春風にさらつとなでられ落ちついた	加茂郡川辺町	奥村 英樹（中三）
振り向かず上向く決意卒業式	加茂郡川辺町	山口 翔大（中三）
桜の木思いとともに育つて	加茂郡川辺町	田原 莓花（中三）
春風に乗って運ばれるこの手紙	加茂郡川辺町	中山 竜鳳（中三）
校庭の木は何人の卒業見たのか	加茂郡川辺町	長谷部 流星（中三）
たんぼぼが道を明るくしてくれる	加茂郡川辺町	細江 華由（中三）
空つぼの春の教室寂しき日	加茂郡川辺町	堀井 咲来（中三）
先生もドキドキしてる春の朝	加茂郡川辺町	佐藤 柊我（中三）
頬撫でる蜜柑の香り祖母の手よ	大垣市	多賀 千夏（中三）
お花見の帰り道はゴミひろい	羽島市	はっとり ももこ（小三）
下校中ちようちよを見つけ春になる	大垣市	谷口 暖季（小五）
大垣のきれいな水のかわずの子	大垣市	川合 りの（小五）
春の空いつもとちがう一日に	大垣市	清水 是宇（小五）
先行くよ学校向けて燕飛ぶ	大垣市	岡田 琉瑞（小五）
春風がズボンの下をすりぬける	大垣市	谷本 ゆいな（小三）
春の川桜の色に変わったよ	大垣市	小森 琴（小五）
おひなさんどんなときでもすましがお	大垣市	セストリック 衣莉（小五）
おちこんで上を見あげばさくら散る	大垣市	高はし かのん（小五）

選者吟

恋猫の駆け引き塀の上と下

せいじ

